

## ベトナム情報

### 図書館

ハノイ

ベトナム国家図書館 (<http://nlv.gov.vn/ef/>)

閲覧カード作成要 (12万ドン+パスポート)、OPAC 検索可、コピー依頼可  
博士論文あり (パソコンで閲覧可もあり)

ベトナム社会科学通信院・ベトナム社会科学図書館 (<http://issi.vass.gov.vn/Pages/Index.aspx>)

ベトナム社会科学アカデミー・社会科学図書館

閲覧カード作成要 (閲覧料+パスポート+紹介状+写真二枚 (パスポートサイズ))

OPAC 一部検索可。現地でカード検索が多い。

ベトナム随一の社会科学系図書館。

仏領期・南北統一前の雑誌・新聞・図書がある。館外持ち出し不可。

新聞・雑誌を所蔵しているが、マイクロ化はされておらず、製本状態も良くないことが多い。

コピー・写真撮影可。

ホーチミン

南部社会科学院・社会科学図書館 (<http://siss.vass.gov.vn/Pages/default.aspx>)

仏領期以来の蔵書あり。統一前の雑誌・新聞・統計も所蔵。ただし、改修に伴う引っ越しで紛失多。  
館内 OPAC のみ。

ホーチミン市総合科学図書館 (市立図書館)

統一前の雑誌・新聞・統計も所蔵。OPAC 検索可。一般書が多い。

### デジタル化

文献や資料のデジタル化は、とくに、国立図書館を中心に漢字字喃文献や劣化資料のデジタル化が進んでいるが、デジタル化技術程度が低く、デジタル上で文献の端が切れていたり、逆にオリジナル閲覧ができなくなっていたりと研究者にとって評判が悪い。新聞もごく一部についてデジタル化が始まってウェブサイト上で閲覧可能。

### 本屋・古本屋

12月19日通り(19 Thang 12)の(新しい)書店街

チャンティエン通り(Tran Tien)通りの国営書店

ディンレー通りの古本街→減少気味?

Bat Dan 通り 5 番の古本屋

### 新聞

ベトナム語紙

ハノイモイ(Ha Noi Moi) (ハノイ) (<http://www.hanoimoi.com.vn>)

サイゴン・ザイフォン(Sai Gon Giai Phon) (<http://www.sggp.org.vn>)

トイチェ(Tuoi Tre)( <https://tuoitre.vn>)

共産党傘下のホーチミン共産青年同盟(青年団)ホーチミン市支部の機関紙として 1975 年に設立された。紙媒体の発行部数は国内トップで、信頼性が高く政治・社会面で最も影響力のある新聞。

英語紙

Saigon Times (<https://english.thesaigontimes.vn>)

### 国家による検閲・監視、フェイクニュース

最近、ベトナムにおいて、活動家や情報発信者に対する締め付けが厳しい。

例：ベトナム女性人権活動家、突然の拘束 報道・言論の自由への道なお険しく

「社会主義共和国であるベトナムで女性や少数者の人権保護、言論の自由などの実現を目指して活動中の女性ブロガーであり、女性人権活動家でもあるフィン・トゥク・ヴィーさんが8月9日、ベトナム中部高原ダクラク州ブオンホーの自宅で地元警察によって連行、逮捕されたことが明らかになった。」

<https://www.newsweekjapan.jp/amp/stories/world/2018/08/post-10769.php>

ベトナムで激化する言論弾圧

ベトナムで情報発信者への締め付け、弾圧が激しくなっている。

共産党1党支配が続き、130人の政治犯が拘束されている。

「ベトナム政府による民主化運動や人権問題の活動家、自由を求めるブロガーなど情報発信者に対する締め付け、弾圧が激しくなっている。反政府の立場を少しでも明らかにした場合は「社会の秩序を乱す恐れがある」「国家の安定を脅かす可能性がある」として国家転覆容疑で逮捕し、裁判の結果長期の禁固刑が下されるケースがこのところ相次いで起きているのだ。

こうした動きの背景にはベトナム共産党による一党支配に対する国民の不満、反政府的な主張などがインターネットやソーシャル・ネットワークを通じて国内外に広く発信されている現状に政府、治安当局が危機感を募らせていることがあるのは間違いなく、ベトナムの「言論の自由」「報道の自由」は依然厳しい「冬の時代」の最中にあるといえる。」

<https://japan-indepth.jp/?p=42267> ; <https://www.hrw.org/ja/asia/vietnam>